

TRICOLOR

かながわフェスティバル

3月20日(祝・水)には1年に1度の全クラブ員を対象としたかながわクラブ最大のイベント「かながわフェスティバル」が開催されました。幼児～パパスまでの全カテゴリーのクラブ員を縦割りの全12チームに分けてゲームを行いました。当日は晴天にも恵まれ参加者の方々のご協力もあり、盛況のうちに無事終わることができました。各カテゴリーから1名ずつ選出されるMIP及び全参加者から1名選出されるMVPは以下の方々を選出され記念品が贈呈されました。

【MIP 受賞者】

カテゴリー	受賞者
幼児・小1	竹内 豊
小2	柴田 賢和
小3	野田 爽人
小4	廣瀬 亮
小5	中之菌 明日翔
小6	後藤 翔哉
Junior Youth	吉山 慎太郎
Youth	三村 優也
Top	高原 伸介
Papas	樋熊 克之

【MVP 受賞者】

太田 貴文



新年度スタッフ & 学年幹事

【サッカー・スポーツクラブ運営スタッフ】

カテゴリー	担当
SL(小1・2)統括	佐藤
幼児・小1	鈴木
小2	佐藤
LL(小3・4)統括	浜野
小3	近江
小4	豊田
平日(水・金)	豊田・浜野
L(小5・6)統括	益子 (区選抜監督)
小5	益子
小6	伊藤(雅)
平日(火・木)	高田・豊田
幼児・小学生 アシスタント	小野(チーフ)・丸山 田中・河合・山本
Junior Youth	高田
Youth	高・豊田
Top	GM 中本 監督 高田 主務 二木
Papas	GM 茅野 港北小 浜野 Rec Mng:平澤、監督:太田 Comp 中山 Over50 茅野 Over40 茅野
ヨーガ	水曜日 伊藤(玲子) 金曜日 中川

【幼児・小学生担当スタッフについて】

新年度より、新たに「統括」部門を設けます。これは、

- ① クラブ員保護者、地域、他チームへの情報伝達と様々な対応を速やかにかつ円滑に行う

② すべてのクラブ員に、安全で快適な、さらに質の高いサッカー環境を提供する

③ U8、U10、U12(U:under の略)の指導内容をさらに強化し、6年生・JY以降(13歳以上)の世代で、県内のサッカー関係者から高い評価を得るような選手を育成する

④ コーチングスタッフの指導力を向上させ、若手コーチを育成するためのものです。

新年度を迎えるにあたって、今後何年経っても、小学生から中学～高校～大学～社会人、そしてパパス(ママス!?)へと、生涯スポーツの醍醐味を満喫していただける「かながわクラブ」であり続けたい、との思いを新たにしております。新年度も宜しく願いいたします。

(スタッフ一同)

- ◆益子コーチ:区選抜の監督に就任!
 - ◆クラブ事務局:豊田(事務局長)・高田
 - ◆サッカークラブ部門代表:浜野
- ※事務局長、各部門代表者の内田は、3月末日で退任

【小学生学年幹事】

カテゴリー	学年幹事
幼児・小1	未定
小2	下野・渡辺
小3	鳥居・平出
小4	佐藤・柳澤
小5	近藤・新家
小6	大久保・小宮

※敬称略

大会・公式戦結果

Top

【横浜市民大会】

▼準決勝

vs 六浦 SC 6-3 ○

Junior Youth

【県U-15サッカーリーグ】

vs 原中学校 0-5 ●

小4

【オレンジCUP】

vs 南百合丘 SC 0-5 ●

vs 横浜栄コラジオ 3-1 ○

vs セリエ FC 7-0 ○

◆結果:準優勝

小3

【ROOKIE LEAGUE】

▼Aチーム

vs KAZU SC(W) 5-2 ○

vs FCカルパ 6-0 ○

vs 横浜 SC つばさ 2-3 ●

vs FC JUNTOS 4-6 ●

今、グラウンドでは・・・

Top

【市民大会決勝進出】

トップチームは3月17日に市民大会準決勝を行い、昨年の県リーグ1部優勝の六浦FCを6-3(2-1)で破り決勝戦進出を決めました。相手チームが退場者を出し、試合を有利に展開して前半を2-1で折り返したものの、後半に相手の猛反撃に合い2-3と逆転を許します。しかし、そこから再びかながわクラブの攻撃力が爆発し4得点、6-3と言う乱打戦になりました。特に後半の4得点は、相手の人数も少ないこともありましたが、サイドや中央を完全に崩しての得点でチームの成長が見られます。決勝戦は3月31日このトリコロール配布の日ですが、VERDRERO 港北と行います。

【県リーグ展望】

今年度の県リーグ1部は混戦が予想されます。2部からの昇格3チームを加えどのチームも強豪ですが、かといってずば抜けて強いチームも見当たりません。昨年リーグを制した六浦FCでも昨

年のリーグ戦は3敗しており、3敗くらいまでは優勝できるチャンスがあると思われれます。昨年のかながわクラブも実は3敗しかしておらず、ただ、引き分けが4試合あったために勝ち点が伸ばせませんでした。今年度はその引き分けを勝ちに結び付け、劣勢になりそうな試合でも勝ち点を奪うことが優勝につながると思います。言葉で言うのは簡単ですが、今のトップチームの攻撃力をすればできると思います。詳しい県リーグの日程はまだ決まっていますが、ぜひ今年度も熱い戦いを見に来てください。

【TOP チームホームページ】

<http://www.kanagawaclub.com/topteam/>

(中本 洋一)

Youth

先日、UCL2leg バルサvsミラン戦を見ました。普段なかなか見れなく、久しぶりのバルサ戦、監督が変わってから何試合か見たのですが、ミラン戦のバルサは、以前のバルサのような迫力がありました。

前半は、とにかく攻守の切り替えが早くパス回しも素早く行っていました。守備への切り替えも早く、相手を自由にさせていませんでした。ミランは、カウンターを当然狙いとし、バルサの守備を警戒し中盤を出来るだけ外す狙いがあったと思います。しかし簡単に縦へ蹴らせず、つなごうものなら連動した守備で、縦からサイドに押し込もうとしていました。リスクマネジメントもしっかり行い隙のない守備だったと思います。やはりこの守備力があってこそバルサの強さが維持できていると思います。相手の守備の時間を多くして、精神的にも肉体的にも追い込んでいく、そのためには守備へに切り替えの速さと素早い連動、特に連動の中で自分のマークを捨てて

連続でアプローチし捨てたマークを他のプレーヤーが素早く修正していく速さとサイドに追い込んだ時などの数的有利の作り方の速さは、素晴らしかったです。

これらは高い集中力と、体力、が必要であるし責任感がなければできません。チームの為に戦い普段から責任を持った準備をして行かなければなりません。攻撃では素早いパス回しで相手を揺さぶり、スキを窺って縦への楔を入れたりサイドチェンジを行っていました。イニエスタやシャビの絶妙なポジションニングとそこえ絡むビジャなど他の選手の動き出しなど素晴らしいプレーが多々ありました。しかしグラディオラ監督のときは、相手の分析をし、戦い方を変えてきました、今もそうしてるはずですが、でもなぜかメッシが目立ってしまいそこを封じ込まれるとどうなるんだろうと思ってしまいます。以前は、多くのプレーヤーが得点に絡んでいたように思いますが、戦い方によって得点者が変わるかのよう。

しかしそれにしてもメッシはすごい！あれだけ警戒されても得点してしまうんだから、間違いなく世界一の選手です。ユースの選手も見習いましょう。いろんな意味でサボる選手は使い物になりません。

(高 勝竜)

Junior Youth

2012年4月にアシスタントコーチとしてこのチームに就任し、8月の白馬合宿を機にヘッドコーチになりました。当初このチームは1学年上のリーグ戦に参加し、大差で負ける試合が続いておりました。選手たちからは戦う気持ちや

サッカーに対する情熱は感じられませんでした。さらに、小学生段階で習得しておくべき、基本的スキルがない選手が多く、指導していく上で、何から手を付けていいのか悩みました。「基礎基本の習得」これが彼らにとって、優先的に改善していかなければならない点だったかもしれません。しかし、彼らが求めているのは「とにかく試合に勝てるようになること」でした。そこで、私が選手時代にやっていた練習メニューや戦術を積極的に取り入れ、伝えることで「俺らはプロサッカー選手がやっている練習をやっているんだ、他のチーム(特に部活)とは違うんだ」という特別意識を持たせ、モチベーションを上げること、自信をつけさせることから、チームを成長させることを目指しました。この成果は徐々に、選手の表情、サッカーに取り組む姿勢、技術的な面にも現れ、試合内容は以前と見違えるようになっていきました。それは選手自身が一番感じていたのではないのでしょうか。まだまだ「強いチーム」とは言い難いチームではありますが、このチームは、他のチームの監督やコーチから「かながわクラブは仲が良いね」と言われるほど、明るい雰囲気を持った素晴らしいチームです。そんな中で私は、一年間仕事ができて、本当に幸せでした。さらに指導者として大きな一歩を踏み出すことができたことを嬉しく思います。

4月から私は、新たなフィールドでチャレンジします。また日本をしばし離れることとなりますが、成長した選手と再び会える日を楽しみにしております。

最後に私が大切にしている言葉を贈ります。

「リスクを冒して攻める。その方がいい人生だと思いませんか。」

by 元サッカー日本代表監督イビチャオシム

「再見！！」

(舘 洋介)

現小 6

【祝 卒業】

6年生の皆さん、小学校ご卒業おめでとうございます。4月からは、中学生ですね。ふり返ってみると、あつという間の2年間だったように思います。通常の活動時はもちろんですが、特に三浦遠征や白馬合宿など、みんなと寝食をともにした日々が懐かしく思い出されます。

かながわクラブでの活動を通じて、みんなにはいろいろなことを伝えてきました。

- ① 挨拶をする
- ② 良い準備をする
- ③ やるからには一生懸命取り組む
- ④ やり遂げる
- ⑤ 向上心をもつ
- ⑥ 失敗を恐れずトライする
- ⑦ 失敗から学び、それを次に生かす
- ⑧ 仲間を大切に作る

中学生になると、自分一人の力で乗り越えなければならない場面がたくさんでてくると思いますが、そんな時はこれらの言葉を思い出し、逃げずに正面から自分自身と向き合ってみてください。君たちなら、壁を乗り越えられると信じています。

かながわクラブでは、1人でも多くの子供たちにサッカーの楽しさを伝えることを目指しています。サッカーの面白さを知ったみんなには、これから先もずっとサッカーを続けてもらいたいと思って

います。(ジュニアユースに進んでもらえたら一番うれしいですが……。)すべてのコーチを代表して伝えます。6年間ありがとう、そしてこれからもよろしく！

最後に保護者の皆様、クラブの活動に対し全面的にご協力を賜りまして、本当にありがとうございました。皆様のおかげで、現場での指導に専念することができました。

この3月で、一度かながわクラブから離れてしまうご家庭もあるとは思いますが、また、いつでも遊びにいらしてください。スタッフ一同、お待ちしております。

(鈴木 章弘)

新小 6

今年度、6年生を担当させていただき事になりました伊藤と申します。前年度まで鈴木コーチのアシスタントとして6年生(現中一)を2年間見させていただきました。とはいえ、いろいろな学年のサポートにも入っていたので顔ぐらいは見覚えがあるのでは…。

私は、小学5年生からサッカーを始めました。様々な指導者の元、続けてきましたが「チームワークの大切さ」が根底にあるからこそ「楽しい・上手になりたい・勝つ喜び」がついてくるのだと感じております。私自身が指導する立場になってからもその事を第一に考えて取り組んでいます。シュートを決めれば皆で喜び、ミスをしては責めるのではなく周りの仲間が自然にフォローする そんなチームを目指します。今年一年「チームワーク」を第一に考え、サッカーを通して子ども達と成長していきたいと思えます。

保護者の皆様、いたらぬ事もあると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

(伊藤 雅)

小 5 (新小 6)

【ご卒業おめでとうございます。】

6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

かながわクラブでの活動はいかがでしたか？笑ったり・泣いたり・悔しんだり・喜んだり色々な事や経験をしたと思います。

中学生になってもサッカーを続ける人・違うスポーツ等を始める人もいるかと思いますが、かながわクラブの活動で得たもの・同じ目標に向かってがんばった友達をこれからも大切にしてください。これからの活躍に期待しています。

【1年間をふりかえって】

5年生の皆さん。今年1年間の活動は、どうでしたかでしたか？サッカーは楽しかったですか？

私から見てこの1年間で選手たちは、公式戦・夏合宿・招待試合やカップ戦・バスや電車移動等を通して、サッカー一面以外の生活面や精神面でも大きな成長を遂げた1年だったと思います。サッカーというスポーツを通じて、選手たちの成長にまじかで関わる事ができて、自分自身もとても勉強になりました。

来年も大好きなサッカーを通して更に成長してってください。来年度もがんばってください。

【保護者の皆様へ】

1年間、サポートや応援ありがとうございました。来年度も選手たちのサポートや応援よろしくお願い致します。

(丸山 祐人)

小 4 (新小 5)

【招待杯】

2月末と3月上旬に2つの招待杯に参加しました。大豆戸杯優勝、オレンジCUP準優勝と結果も残すことができました

た。今回の2つの大会では、移動から、準備、時間管理等をなるべく選手達でしてもらいました。その中でこの結果は立派だと思います。内容的にはまだまだでしたが、今まで君達が過ごして来た毎日の積み重ねがこうやって結果にでるとうれしいものですよね☆これからのことも君達次第だと思います！！思いつき精一杯努力して、そして思いつき楽しんで、そして仲間と助け合いながら過ごしていけば、さらに楽しい瞬間を味わうことができるはずですので、自分を信じてサッカーを続けていってほしいと思います。

【考える大切さと伝える大切さ】

最近の試合では「自分達で考えて行動する」をテーマに取り組んでいます。それはサッカーをしているときだけではなく、サッカーの活動の中で自分達の力で集合場所や試合会場まで行き、自分達で準備をしたり、そこで知り合った人達とコミュニケーションをとったり、沢山の仲間を作ったりすることも大切なことだと感じています。そしてそれがスポーツの素晴らしさの一部でもあると思います。

そうなる当然ながら、どの電車に乗ってどこに向かって行くかを知らなければなりませんし、相手チームが何というチームかも知ってなければいけません。そういった事を通して、考えることだったり、周りを見ることだったり、いろいろなことを身につけるチャンスが転がっていると思います。お父さんの車に乗って来たり、乗って帰ったりは確かに楽で安心でしょう。でも、そこにはいろいろな事を身につけるチャンスは残念ながら転がっていないかもしれません。今後も活

動全体の中で新しい発見やチャンスを見つけてほしいと思います。

それと、今まで自分の思いや考えを伝えられなかった選手も多かったと思います。伝えられなかった理由は恥ずかしかったり、思ったことをうまく言葉に出来なかったりと人それぞれ違うと思いますが、最近の活動では自分の考えを相手に伝えることの必要性を感じていると思います。試合前やハーフタイムの選手間の話し合いを聞いていると明らかに変わってきたな〜と、とても感心して見えています。これからの皆が本当に楽しみでしかたがありません！！期待しています！！

さて、それでは大勢の選手が意見できるようになった次に何が必要でしょうか？その部分はこれからの課題ですね。

その意見をどうまとめるか？

それを元にどう計画を立てるか？

そして実行した後の修正をどうするか？

まだまだ課題だらけに見えるかもしれませんが、それは楽しい発見がまだまだ沢山隠されているということでもあります。そういった宝を大人が発見してあげるのではなく、選手達が自分で発見できる様な環境の提供に、引き続き保護者の方にもご協力頂けたらと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

【お礼&ご挨拶】

4年生という忙しい一年間、至らない小生を支えて頂きありがとうございました。本当に暖かい雰囲気の中で好きなようにやらせて頂いたのも、皆様の支えがあったからで、本当に感謝しております。来年度も5年生のメイン担当をさせ

て頂くことになりましたので何卒よろしくお願い致します。

最後に私事ですが、来年度の神奈川県選抜の監督に就任する事になりました。また、かながわクラブ 6・5年生の統括コーチにも就任する事にもなりました。そんな事から、今まで以上にご迷惑をお掛けする事にもなるとは思いますが、何卒よろしくお願い致します。

(益子 伸孝)

小3(新小4)

【指導者講習会】

3/3~20の期間中、土・日曜日を中心に日本サッカー協会公認の指導者講習会に参加させていただきました。期間中は練習や試合の引率を担当することができないこともありクラブ員やスタッフの皆様にはご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんでした。

講習では実技と座学、通信教育やレポート、指導実践や筆記試験が課され、ハードで内容が濃いものでした。発育発達やメディカル、コーチング法や戦術・理論や指導者の役割等について改めて学習することにより、今まで得た知識や現場での経験を自分の中で整理することができました。また、正しい知識を学ぶことの重要性を改めて痛感しました。今回の講習で学んだ知識や身に付けたことを今後の実際の指導において生かしていきたいと考えております。また、今後も常に学び続け正しい知識を身につけ、最新の情報を収集することにより、子どもたちにとってより良い環境をつくっていききたいと考えております。

【新年度に向けて】

4月からの新年度も引き続き新4年生

を担当させていただくことになりました。また一年間宜しく願いいたします。子どもたちとしっかりと向き合い、良い部分はさらに伸ばし、修正が必要な部分は修正を加えながら、決意を新たに取組んでいきたいと思ひます。

保護者の皆様には、審判や引率や会場設営の準備等をお手伝いいただき大変お世話になりました。また、毎回現地まで多数の方に応援にお越しいただき、練習や試合を盛り上げていただきありがとうございます。今後とも子どもたちが伸び伸びとサッカーができる環境作りにご協力いただきますようお願い申し上げます。

(豊田 泰弘)

小2(新小3)

【今年度】

今年度は自分が2年生という代を持って2年目になりましたが、秋にやった大会などを通じて選手たちが成長していく姿が面白いくらい目に見え、子供の成長の早さに驚かされてばかりでした。それはもちろん体的にもそうですが、何より心のほうが成長したと思ひます。なぜ試合に負けてしまったのか、なぜ点を取れなかったのかを選手たちが考え、次の試合で実際に実行してみるとということが何度も見受けられました。その思いの原点には「サッカーが好きだ！」というものを感じ、サッカーを教えていてよかったものすごく思ひました。しかし、自分が感情移入しすぎてしまい勝たいたいあまり選手にきつく当たってしまったこともありました。そのせいで選手がサッカーを嫌になってしまうことは指導者としてあってはならないことです。そういうことを知れて自分も成長できた

1年でした。

【来年度】

来年度には、大口台小学校での平日練習が始まり、ますますサッカーづけの日が続くようになると思ひます。区リーグなどの大会も始まり、どんどん試合も増えてくると思ひます。その中で「サッカーを楽しむこと」だけは忘れないでほしいと思ひます。自分が高校の部活でサッカーをしていた時、正直なにかミスをすると思はれ、ミスしないようにという思いで試合に臨んでいました。でも、そのようにプレーしていてもかたい無難なことしかできず、面白くないということに大学のサークルに入ってから気づきました。「サッカーを楽しむこと」を忘れないければ、どんどんうまくなっていきます。これは自分が保証します。そのような思いを忘れずに、サッカーづけの毎日を送ってもらいたいと思ひています。

(近江 柔)

幼児・小1(新小2)

【それでも体罰容認！？】

体罰の問題が大きな社会問題になっています。自らの体験から体罰は全く意味がないと断言する元ジャイアンツの桑田真澄さんのような方がいる一方、相変わらず体罰を容認するような意見も少なからず耳にします。スポーツの世界で本当に体罰は必要なのでしょうか。肉体的な苦痛を与えることがスポーツの技能の向上につながるのでしょうか。言葉の暴力も同様です。大きな声で罵声を浴びせることや罵倒することが選手たちの奮起を促すことになるのでしょうか。日本ではスポーツの指導が学校において部活動という形で行われ始めたという歴史があり、学校においては先生と生徒という関係が確立されています。師弟関係などとも言われていました。つまり、指導する者と指導される者という

立場の厳然たる上下関係が存在しているのです。

常に指導者が優位に立ち、指導を請う立場の選手(子どもたち)が弱い立場にあったことが、どうやら体罰を容認する風潮に歯止めをかけられない原因の一つのようです。指導者が裸の王様である限り、犯罪にも等しい体罰や理不尽な言葉の暴力に対して子どもたちは全くの無力で、指導者の顔色を見ながら、機嫌を損ねないように、プレーをする以外に方法はないのです。

【体罰に頼らない指導を！】

最近ではようやくスポーツを本来の意味のように楽しむべきだということが言われ始め、子どもたちが部活よりもスポーツクラブのようところでスポーツを楽しむ機会も増えてきました。少しずつですがスポーツをする人たちの認識も変わってきて、科学的なトレーニング法も取り入れられるようになり、明るい兆しも見えるようになってきました。

また、指導者のなかにも、心理学や科学的なトレーニング法など、様々なことを勉強し、体罰や言葉の暴力に頼らない指導法を模索する人たちも増えてきています。子どもたちの可能性を信じ、子どもたちの興味を惹きつけ、集中してトレーニングに取り組めるように仕組むことが指導者としては不可欠です。そして、何よりも大切なことは、スポーツをする楽しさ、喜びを子どもたちに伝えることなのです。決して自己の名声や地位を守るためであってはなりません。

ここに興味深い実験がありますので紹介します。3匹のマウスとシンプルなT字の迷路を用意します。T字路のTの下の部分にマウスを入れ、どのマウス

が最も早く T の縦棒を進み、左に曲がることを覚えるかというものです。設定されたそれぞれの条件は次のようなものです。

A:左にエサ、右には電気ショック

B:左には何も置かず、右には電気ショック

C:左にエサ、右には何も置かない

普通に考えれば「A」が最も効果的のような気がしますが、実際の実験結果によると、最も効果的だったのは「C」でした。成功すればエサが食べられるが、失敗しても何も起こりません。一方で、「A」と「B」のマウスはどうなったかという点、実験を繰り返すうちに極度のストレスで微動だにしくなってしまうのです。下手に動けば電気ショック(=体罰)をうけることから、萎縮し、試行錯誤すること、トライすること自体をやめてしまったというわけです。

【褒めることが大切！】

「マウスと人間とでは体の構造も脳の構造も全く違うから…」と簡単に否定することができますか？想像してみてください。体罰や怒鳴られること(電気ショック)を恐れるあまり、指導者の顔色を窺い、その場は指導者の指示に従うように見える選手は、そのうちに試行錯誤することも、前向きに取り組むこともなくなってしまうのではないのでしょうか。技術を習得するための不可欠な要素であるトライ・アンド・エラーを完全に無視したような指導者の体罰や言葉の暴力は百害あって一理なしです。指導者の怒りの嵐が通り過ぎるのを待つための術としての服従を強いられた選手たちは、反論すら許されず、恐怖のために萎縮し、悲しいことにいずれスポーツそのもの

を嫌いになってしまいます。

自ら考えて、判断し、プレーしなければならぬサッカーでは、指導者の顔色を窺い、指導者の満足するようなプレーだけをやる選手は上達しません。指導者の思いつかないような発想、指導者が考えないようなプレーをする選手が求められるのです。かながわクラブでは「失敗するのは当たり前、上手くできないから練習する必要がある」と常に子どもたちには伝えていきます。失敗には目をつぶ(見ていないのではなく、失敗の原因を考えさせるように言葉をかけ)、上手くできたら褒めるということで、子どもはまたチャレンジしようという気持ちになります。安心して失敗する(?)ことができます。

やはり、基本的には「褒める」ことが大切だということがお分かりいただけたでしょうか。

(佐藤 敏明)

Papas

【PapasOver50 誕生！】

この3月15日に横浜市サッカー協会シニア委員会から諦めかけていたOver50の横浜市シニア委員会参加が認められました。PapasOver50の誕生です。

Papas 結成から13年、参加メンバーも年々年齢を重ねてきており、還暦過ぎのメンバーもちらほらと。40歳台のリーグでなく、50歳台のリーグへの参加が急務であると認識していました。しかしながら、1チームを編成するには少なくとも17、8名の参加者が必要ですが、まだそこまでには至らず、特に県シニアリーグはグラウンド確保不足から新規参入を事実上閉ざしており、どうしたもの

かと悶々としておりました。

そうした中で、実は、昨年度は50歳台リーグに参加しないかと横浜市サッカー協会からお声掛けがあったのですが、50歳以上のPapasメンバーがまだ十数名とチーム編成には不足しており、後ろ髪を引かれる思いで辞退しました。

そして25年度からはぎりぎりチームが編成できそうなので、昨年秋から、市協会に何度となく、シニアリーグ加盟をお願いしたのですが、1チーム増えることに伴う試合会場確保のめどが立たないので新規参加は無理だと断られました。内田理事長からも、市協会に働きかけをしましたが、やはり答えは同じでした。こんなことになるなら、無理しても昨年のお声掛けに従っておけばよかったと何度後悔したことか…。

それが市協会から送られてきた新年度の試合日程表をチェックしているとなんと試合日程に「かながわクラブ 50」の文字が！もしかしたらどこか全く別のかながわクラブのOver50が新規参入かとさえ思いました。とりあえず市協会に電話して、確認方々、参加承認のお礼を伝えました。とにもかくにも、今年への参加はOKとのこと。但し、「26年度はわからないよ、グラウンド確保次第だから」と言われました。とにかく今年は参加できるので、ここで参加者不足による不戦敗などないようにして、ここ横浜市サッカー協会Papas50代の活動の場をきっちり確保したいと考えています。

しかし現状では、50歳台の多いRecとOver50の試合が重なると両方も人員不足などのシビアな場面が出てきそうですが、なんとかここを乗り越えていかねばならないと思います。そのために

も Over50 と Rec はもう少しメンバーの確保を進める必要が出てきました。どうぞ下記の要領で Over50 メンバーを募集しますので、還暦過ぎの方も含め 50 歳以上の皆さん、奮ってご参加を！

【Over50 の編成と募集】

4/7 が Over50 の初戦ですので、至急下記の原則で Over50 のチーム編成をして、運用していきたいと思えます。

・Rec&Comp の 50 歳以上のメンバーは、追加負担なしで全員 Over50 に登録する。

・Rec&Comp 以外の Papas メンバーから事務登録手数料年間 4,000 円でメンバーを募集する。(他チームから県シニアリーグの四十雀、五十雀登録者も、他の市協会チーム登録者も参加できますので、是非、重複参加をお願いします。希望者は茅野までメールをください。)

・Rec&Comp と Over50 の試合日程重複は、カテゴリーが異なることから市協会は調整しないので、Rec&Comp の参加状況を見ながら、Over50 の試合が成立するよう頑張る！

【Over40 の編成と募集】

Over40 の編成と運用も Over50 の新編成に伴い、以下のとおりとします。

・Rec&Comp の 40 歳以上のメンバーは、追加負担なしで全員 Over50 に登録する。但し、試合出場機会の均衡を図るため、Over40 に登録した 50 歳以上のメンバーは、Over40 がメンバー不足を生じない限り、試合出場を認めない(50 歳以上の方は、スーパーサブとして登録のみを行うということです。経験上、Over40 のメンバー不足は生じません。)

・Rec&Comp 以外の Papas メンバーから事務登録手数料年間 4,000 円でメンバ

ーを募集する。(希望者は茅野までメールをください。)

・Rec&Comp の県リーグ戦試合日程との重複調整は、市協会は兄弟チーム(Rec&Comp のこと)の上位のチームとの調整しかしないので、Comp と重複した場合は市協会に調整を依頼するが、Rec と重複した場合は、日程調整が行われないので、Comp 主体の Over40 チームで参加する。

(茅野 英一)

ヨーガ

【ヨーガクラスの新たなスタート！】

かながわクラブでヨーガ指導の担当をさせていただき始めたのが 2005 年 5 月でした。夜の金曜ヨーガ教室は、そこから 8 年近くなります。場所は神奈川中学の音楽小ホールから現在の白幡地区センターへと移動しましたが、開設時と変わらぬ曜日、変わらぬ時間に皆様をお迎えし、ヨーガを楽しんでいただきました。

その金曜ヨーガ教室の担当を、今年度末をもちまして離れることとなりました。毎週熱心に通ってくださる方、お仕事忙しい中お時間を作ってご参加くださる方、ヨーガインストラクターを目指す程ヨーガを気に入ってくださる方などなど。お一人おひとりのスタンスは様々ですが、お教室はいつも和やかで明るい笑顔にあふれていました。そんなクラスを離れるのはとても寂しいですが、その寂しさが吹き飛ぶくらいうれしいのは、来年度よりこの教室をご担当くださる先生は、なんと、この参加者でいらした方なのです。指導者冥利につきるというのは、このことかもしれません。

新しい季節、新たな年度に向けて、多くの方々の支えをいただき益々頑張っ

ていきたいと思っております。

なお、神奈川中コミュニティハウスでの水曜ヨーガ教室は、引き続き来年度も私が担当させていただきます。今年度も多くの方々にご参加ご協力いただきありがとうございます。

これからも、かながわクラブのヨーガ教室、水曜、金曜とも、どうぞよろしくお願いたします。

(伊藤 玲子)

たわごと 理事長の戯言

【本当に本当にありがとうございました】

かながわクラブが創立されたのは 1979 年のことです。浜野・佐藤両コーチ、現港北 FC 代表の永井氏らを中心に立ち上げられました。翌 1980 年、大学 1 年生の時にクラブのお手伝いを始めさせていただきました。初めて港北小に行った日、髪の毛を引っ張られ、あちこちを蹴られ、パンチされ、散々な目にあいました。ムキになって追いかけて回りました。そんなことをした悪ガキたちは、今は 40 歳の立派なコーチです。一人はキャプテン(益子)、もう一人は副キャプテン(二木)でした。

1981 年の夏合宿中、兄が海難事故で亡くなりました。家に行き先を告げずに出かけていた私は、こっぴどく叔父から叱られました。連絡先の手がかりになったのは、クラブの子どもからの一枚の暑中見舞いのハガキでした。

1986 年には、親の反対を押し切り、農協職員を辞め、クラブ専任となり代表を務めさせていただきました。指導はわからないことだらけで、毎日のように日産 FC に押しかけ、教えを請いました。

1999年には、かねてから念願だった法人化が叶い、同時に理事長に就任させていただきました。日本初のNPOサッカークラブの誕生です。力になってくれたのは、一人のお父様でした。その方は、今はPapásのマネージャーをしています。

2001年から2002年にかけては、多くの皆様のご理解のもと、日韓W杯組織委員会に出向させていただきました。夢であったワールドカップの運営に携わらせていただきました。終わったあとは抜け殻でした。本当に濃厚な1ヶ月でした。

その後、クラブは、横浜市やtotoの助成を受けたり、県や文部科学省から表彰されたり、同省の事業を受託できたり。。。いろいろありながらも、比較的順調にやって来れたような気がします。みんなに支えられ、頑張った分だけかたちになってきました。子供たちとサッカーをしている時は、本当に幸せでした。

自分の成人式の日、子供たちを引率して、綾瀬にある天台小学校に行きました。県の少年選手権で、薄曇りの寒い日でした。試合の合間に、校庭に蕎麦屋さんの出前のバイクが入ってき

ました。引率をお手伝いいただいたお母様が、寒いだろうからと、私に温かい天ぷらうどんをとってくれました。ありがたいやら、嬉しいやら恥ずかしいやら、いろんな気持ちが入り混じりました。疲れ果てた帰りの相鉄線。居眠りしてしまい、横浜駅について周りを見回したら、子供たちに隠れられてしまい、綺麗なお姉様方にクスクスと笑われました。そんな子供たちは、今Papásで活躍しています。

辛い時もたくさんありました。冬の寒い日に、朝から晩まで一人で全学年の指導なんてザラにありました。

安定していた仕事を投げ出したはいが、この先やっていけるのだろうか？不安で眠れない日が続きました。そんな時はいつもみんなの笑顔思い出しました。自分ががんばってみんなが笑顔になってくれるなら、もっともっとがんばろう！そう思ってやってきました。

しかし、ここ数年、体力の衰えが著しく、ナイターで高校生や中学生を指導することや、小学生と全力でじゃれあうことができなくなりました。

気持ちはすぐに小学生レベルになれ

るのに、身体がいうことを聞かないのです。また、気力が昔のように充実せず、どうしてもエネルギーがロスしてしまいます。最後まで集中力がもちません。100%の力で毎回指導に臨むことができなくなってきました。試合の時に、選手と一緒に全力で闘うことができなくなりました。指導者にとって、一番あつてはならないことです。

そこに来て、去年の3月に父を病気で亡くしました。母親も高齢になってきました。実家は代々続いた農家です。そろそろ後のことを母親一人に任せることはできなくなってきました。といっても、今から私に農業はできないのです。。「家を守る」と言ったら大袈裟かもしれませんが、そろそろそのことを真剣に考えなければならぬ時がやって来ました。

なので、今回は、一生で一度のわがままを言わせていただき、クラブの第一線から退かせていただくことにしました。突然のことで、クラブの皆様や関係者の皆様には、ご迷惑をおかけして本当に申し訳ありません。

まだまだ発展途上にあるクラブですが、

内田泰嗣税理士事務所
 有限会社トップガン (ワン・ストップサービス)

税理士 内田 泰嗣

横浜市神奈川区入江2-19-11

〒221-0014 大口増田ビル203号

TEL (045) 431-0408

FAX (045) 431-0488

伊藤玲子先生のCD新発売！ 聴く！グナヨーガ



★お買い求め方法

①以下の薬局の店頭でご購入いただけます。

光和薬局 神奈川区片倉5-5-1

※地下鉄片倉町駅前のARビル1階

TEL:045-482-2215

飯田薬局 神奈川区三ツ沢中町7-9

※地下鉄三ツ沢下町駅3番出口を右に出て、

徒歩5分

TEL:045-321-3553

②以下のグナヨーガ公式サイトからご購入いただけます。

<http://www.gunayoga.com>

③アマゾン(amazon)からご購入いただけます。

④アイチューン(iTunes)からご購入いただけます。

各1575円(税込)販売中



日本テレビに出演

今後は浜野代表以下、豊田事務局長・高田事務局長を中心に新たなスタートを切ります。特に事務局においては、私よりはるかに若いエネルギーで、さらにクラブを発展させてくれると信じています。どうか皆様、彼らを助け、あるときはお叱りいただき、ご支援いただけますようお願いいたします。

クラブのますますの発展と、皆様すべてのご健康をお祈りいたします。今後もどうか幸せなクラブライフをお過ごしください。

皆様のお陰で、こんな私がなんとかここまでやって来ました。長い間、本当に本当にありがとうございました。

(内田 佳彦)

かながわクラブ・クラブ員専用の掲示板です。クラブからの重要なお知らせが記載されますので、まめにチェックしていただくと早く正確に情報が伝わります。

<http://8610.teacup.com/kanagawaclub/bbs>



☆ハンドブックについて☆
 携帯で見られるように作成いたしました。下記の URL をクリックしてご覧ください。

クラブの理念や指導方針、各種手続き方法、注意事情、スタッフの紹介など重要な情報満載です。是非ご一読下さい。

http://www.kanagawaclub.com/HB/youji_shougakusei.html



スポーツ大好き人間のお店
 横浜アンドウスポーツ **ANDO**

至三ツ沢競技場
 保土ヶ谷警察署 コーナン 国道16号 保土ヶ谷区役所 出光GS
 相鉄線星川駅 至横浜
 いなげや マクドナルド サンクス
 交番 マインマート
 アンドウスポーツ 駐車場完備(20台) 至保土ヶ谷公園 至国道1号
 セブンイレブン 保土ヶ谷SPC

※相鉄線星川駅下車3分・横浜新道藤塚インターより5分

アンドウスポーツ
 〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川2-6-30
☎ 045-331-2461
<http://www.sports-nakama.com/as/>

スポーツで日本を元気にしよう！
スクール生募集中！

キッズ (小学生) 平日 15:45~、16:35~ ジュニア (中高生) 平日 17:25~



紫外線100%カット！
開閉式テントリニューアル



ポイント①

学期中なら振替は『何回でも』OK!!

ポイント②

インドアのオムニコート
 実践的な4面フルコート

横浜テニスカレッジ・横浜ゴルフアカデミー<白楽校>



〒221-0075 横浜市神奈川区白幡上町9-23
 東急東横線白楽駅下車 徒歩3分
TEL 045-433-6622